

夢の実現を願って

筑波大学附属小学校 四年 木村 颯汰

僕が幼稚園の年長だったとき、すべり台から落ちて手を骨折した。とても痛かったけれど、その時のお医者さんがレントゲン写真を分かりやすく説明してくれて、僕は、安堵した。そのときから、整形外科医になることが夢となった。

今の僕は、整形外科医になったあと、経験を積んだのち、国境なき医師団の活動に参加し、医療が行き届いていない国の人たちを一人でも多く助けることを目指している。三年生の春、僕は初めて救急車に乗って、緊急手術を受けた。右腕を怪我してしまい、救急車を待つ間、自分の骨が手首から突き出ているのを泣きながらずっと見ているしかできなくて、とても怖かった。痛みよりも、不安や恐ろしさが大きかったのをよく覚えている。

僕は無事、その日のうちに手術をしてもらうことができた。お医者さんから、救急車ですぐ来てもらってよかった、と言

われた。今も何不自由なく使える腕。あの時の先生方に感謝の気持ちでいっぱいだ。

手術をして、病院に入院した時、貼ってあった国境なき医師団のポスターに目がとまった。そこには、日本人の医師が、恵まれない国に行って、たくさんの人を助けている記事が載っていた。僕は、ジーンときた。僕のようにすぐに助けがくれない場所もある。そう思うと、早く大きくなって、そういった人の力になりたいと切に思った。

そのためには、まず、人の気持ちが分かる人間に成長できるように日々努力したい。そして、医学部に入学できるように、全ての学びに全力で取り組む必要がある。学ぶためにはお金もかかる。貯められるお金は少しずつでも貯めておきたい。そして、時間を無駄にせず、将来に結びつく努力に時間を費やしていきたい。夢の実現を願って。

木村 のライフプラン
 将来なにになりたいか？ **整形外科医になって、国境なき医師団の活動に参加する。**
 その理由： **世界中にいる、助けられるのに医療が行きとどかない、
 くて助からない人達を助けたいから**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	9才(4年)	たくさんの本を読んで、自分の視野を広げる。英語を習う。	本代、英語代
2022年	10才(5)	国境なき医師団の教育プログラム(小学校5、6年向け)に参加する。	教育プログラム代
2023年	11才(6)	世界中にどこにいても医療が行き届いていない地域があるのかについて知る。	
2024年	12才(中1)	地域の整形外科医の先生に整形外科医になるために努力することを書く。	
2025年	13才(2)	日本以外の国のことを知り、サマースクールに参加する。	サマースクール参加代
2026年	14才(3)	できる限り、世界中で話ができるよう中国語、フランス語を習う。	中国語代、フランス語代
2027年	15才(高1)	医学部に進学できる予備校に入る。	予備校代
2028年	16才(2)	世界のことを知るために再びサマースクールに参加する。	サマースクール代
2029年	17才(3)	大学受験勉強にはげながら、新聞や本を読み世界の医療の状況を知る。	
2030年	18才(大1)	大学入学。休みを利用して開発途上国をおとす。	大学の授業代、渡航代
2031年	19才(大2)	医学の勉強と同時に人間性を高める努力をする。人は、医師を目指す。	
2032年	20才(大)	国境なき医師団のボランティア活動に参加	
2033年	21才(大4)	休みを利用して短期留学。外国の人々のコミュニケーションの取り方を学ぶ。	
2034年	22才(大5)	日本と海外のつながりを学ぶためにJETROのインターシップを体験する。	
2035年	23才(大6)	大学卒業。再び「国境なき医師団」のボランティア活動に参加。	
2036年	24才	大学病院で医師としてのキャリアをスタート。	
2043年	31才	医師として働きながら、有給を利用して、国境なき医師団の活動に参加する。	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！